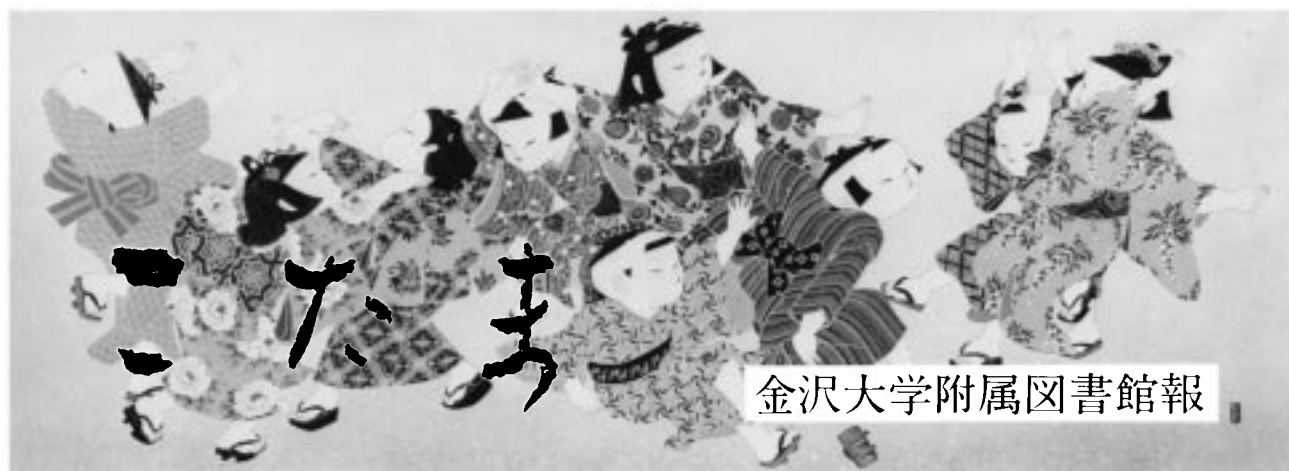




目 次

新規受入れの貴重書紹介 アダム・スミス『哲学論文集』の意義……………	2
総合科目『大学図書館と図書資料に親しむ』終了報告……………	4
トピックス 平成9年度特別図書・外国図書購入費による資料紹介……………	6
シラバス図書購入状況について……………	7
金大の図書の45%（50万冊）がオンライン検索可能に……………	7
無料の生命科学系電子ジャーナル……………	8
金沢大学附属図書館シンポジウム開催のお知らせ……………	8
としょかん日誌（1998年6月～8月）……………	8



アダム・スミスの貴重書3点をご寄贈いただいた松井滯子さんに対し
橋本館長から感謝状が贈呈されました。（7月29日。2頁参照）

新規受入れの貴重書紹介

アダム・スミス『哲学論文集』の意義

法学部教授 加藤喜代志



寄贈された『哲学論文集』
(Essays on philosophical subjects) 初版本。

本学の故松井春雄氏（死去当時、法文学部経済学科助教授）の蔵書のうち、アダム・スミス（1723－1790）の著作がこの夏に松井夫人から金沢大学中央図書館に寄贈された。そこでこの機会に、これらの著作のうちとくに『哲学論文集』をとりあげ、それがどのようなものであり、なぜそれが重要であるのか、紙数の制約があるので、手短かにべよう。

アダム・スミスと聞けば、多くの人はまず『国富論』（1776年）の著者であり、かれがそこで「自由放任」（レッセ・フェール）を主張したと答えるだろう。スミスがこの『国富論』を出版する17年前に『道徳感情論』を出版（1759年）していることを知っている人は多くないだろう。ましてやここでとりあげる『哲学論文集』（1795年）について知る人はほとんどいないかもしれない。

『哲学論文集』は哲学（科学）、模倣芸術、文芸に関する七つの論文からなるが、そのうち哲学にかんする三論文（とくに「天文学史」にかんする論文－ページ数にして『哲学論文集』全体の3分の1を占めている）が『道徳感情論』以前にかかれたという点で、若きスミスの思想形成・学問観を知るうえで欠かせない。かれはそこで、鋭い

感性、注意深い観察力、豊かな想像力が学問研究に不可欠であるとし、哲学＝科学の役割は、自然界の支離滅裂な諸現象（天体の運動、とりわけ天動説と地動説という体系をめぐる議論が「天文学史」の中心だが）によって大衆が抱く不安＝想像力の乱れを、かれらが納得できかつなじみの深い体系（秩序）によって静めたり解消すること、つまりそのような一見ばらばらな現象をつなぐ「見えない鎖」を示すことによって想像力の平穏と落ち着きを取り戻すことであり、それをなしうるのは、上述のような資質と自由な境遇にある哲学者＝科学者であるという。そのような体系・見えない鎖・結合原理は、個々の事物の観察のなかからそれらの共通点を取りだして、それを分類整理することによって形成される（経験論的体系構築）。新しい現象の発生や発見のたびに、体系（パラダイム）の革新（新学説）が必要だが、この新学説の受け入れに抵抗を示すのは大衆の偏見（迷信、混乱）であるから、そのような結合原理がかれらの信用を獲得するためには、それがかれらになじみ深いものであることが必要である。ここにはスミスの大衆蔑視観と実用性否定の学問観がみられるが、前者についていえば、かれは決して大衆を

無視していいとも無視できるともいっていないし、新たな結合原理が真の力をもつためにはかれらの信用の獲得が必要だといっているのであり、後者についていえば、スミスはパラダイムは絶対的ではなく歴史的相対的であるといっているのである。

それではこの『哲学論文集』がいかなる意味で重要なのか。第一に、スミスが生前、自らの責任で出版し名声を獲得したのは『道徳感情論』と『国富論』の二冊のみであり、しかも死ぬまでに重要な改訂を、前者は6回後者は5回もしているように、かれのそれら二者への愛着は大きい。そのかれが死の直前に友人に、公表に適しないと考えた多くの手稿を焼却させ、残りのものの公刊はかれらの判断に委ねたのである。こうして『哲学論文集』は遺言執行人である親友のブラック（化学者・医学者）とハットン（地質学者）によりスミスの死後に編集・出版された（1795年）のであるが、このことはスミス自身がこれらの論文を重要と考えていたことを傍証しているだろう。第二に、かれらがいっているように、この『哲学論文集』には、上記二著に明示されている「みごとな関連づけ」「詳細正確な表現」「明確な描写」が見出されるということである。そのことは「天文学史」における地動説という体系が世に受け入れられていく過程の叙述を追えば納得されることだろう。

最後に、『哲学論文集』との関連で、スミスの二著における構想を要約しておくところなるだろう。あるゆきづまった体系を克服するにはガリレイやニュートンがしたように身近でわかりやすいものを利用する必要がある。スミスにとってそれは個人の利己心と労働である。スミスは、ホップズやマンデヴィルとは異なり、利己心・利己的行為が悪でもなく無秩序をもたらすものでもなく逆

に、社会秩序をもたらすものであることを、人々の心理や行為に対して人間がもつ同感とか反感といったこれまた身近でわかりやすい自然的感情の作用原理によって示そうとし（『道徳感情論』）、また、貨幣が富であるという日常の経験に支えられた概念にもとづく重商主義体系（統制経済）を批判・克服するため、これまた日常的な経験に支えられた身近でわかりやすい富概念つまり労働生産物＝生活必需品・便宜品こそが富であるという考え方にもとづいて、交換と分業＝協業の商業社会、いいかえれば人々から同感をえられるフェアプレイ（ルールに則った活動）を前提とする（独占体ではなく）個人の自由な経済活動の行われる市民社会を構想したのである（『国富論』）。付言すれば、これら二著に共通な各個人の自己保存活動の全体はあの有名な「みえない手」として表現されるのだが、その先駆的形態が『哲学論文集』のなかの「物理学史」において「普遍的精神」として、つまり「全体を最初に創り出しどの私的な個人の保存と繁栄をも顧慮せずに、全体を保存し繁栄させることに向けられた一般法則によってそれを支配する万人の神の概念」としてみられる。

このように『哲学論文集』は若きスミスの思想形成を知る上で、そして後の二著にかれの学問方法論が如何に生かされているかを知る上で重要な数少ない資料であり、その初版本が現在日本に数冊あるとはいえ、金沢大学に所蔵されることは喜ばしいことである。因みに、この初版本にもとづいた日本語訳が公刊されているので、関心のある人は初版本とともに繙いてみてはどうだろう。（水田洋ほか訳『アダム・スミス哲学論文集』、名古屋大学出版会、1993年）

松井滯子さんからご寄贈いただいたアダム・スミスの著書は次の3点です。

- ・『哲学論文集』初版（Essays on philosophical subjects by the late Adam Smith, to which is prefixed, an account of the life and writings of the author by Dugald Stewart. London : Printed for T. Cadell Jun. and W. Davies and W. Creech, 1795.）
- ・『道徳感情論』8版（Theory of moral sentiments）
- ・『国富論』キャンナン版（An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations）

なお、この10月には中央図書館にてこれら貴重書の展示を行う予定です。

また、水田洋ほか訳『アダム・スミス哲学論文集』も同時に購入予定です。

（お問い合わせは、閲覧係（電話076-264-5211）までお願いします。）

附属図書館初めての取り組み

総合科目「大学図書館と図書資料に親しむ」が終了しました 1年生を中心に57名が単位を取得

教官に図書館職員も加わり、14回の講義

附属図書館では、橋本附属図書館長をコーディネーターとして開設された総合科目「大学図書館と図書資料に親しむ」に参加し、図書館職員も講師としていくつかの授業を担当しました。

この科目は、学生の自主的な学習を支援するために今年のはじめて開設されたもので、次の3点を授業の目標としました。

- ①総合科目として大学図書館を取り上げながら、そのオリエンテーションを試みる。
- ②講義を通じて図書館に興味を持たせ、図書に親しむ機会を与える。
- ③図書館における学術情報利用の方法をマスターしてもらう。

受講者としては、主に、大学図書館になじみの薄い1年生を想定しており、60名程の登録を予想しました。

授業は、前期課程2単位、14回の講義と2回のレポート提出で構成されました。講義内容は次の通りで、＊印は図書館職員が担当したものです。

- | | | |
|------|-------|---------------------|
| 第1回 | 4月10日 | はじめに～大学図書館のいま～ |
| 第2回 | 4月17日 | 科学史のなかでの図書館 |
| ＊第3回 | 4月24日 | 金沢大学附属図書館の案内 |
| ＊第4回 | 5月1日 | 附属図書館オリエンテーション（見学） |
| 第5回 | 5月8日 | 金沢大学資料館と新しい展示形態 |
| ＊第6回 | 5月15日 | 金沢大学医学部分館・工学部分館案内 |
| ＊第7回 | 5月22日 | 学術情報の入手と学術情報センターの役割 |



第4回は中央館の見学。好評でしたが、「もっと実習の時間がほしい」の声も。

- | | | |
|-------|-------|----------------------|
| ＊第8回 | 5月29日 | 図書館の仕事・司書の仕事 |
| 第9回 | 6月5日 | 歴史資料のおもしろさ |
| 第10回 | 6月12日 | 自然科学図書のおもしろさ |
| ＊第11回 | 6月19日 | 金沢大学所蔵の貴重図書・資料 |
| 第12回 | 6月26日 | 四高と四高関係資料 |
| 第13回 | 7月3日 | まとめ～電子図書館化をめぐって～ |
| 第14回 | 7月10日 | まとめ～電子図書館化をめぐって～（実習） |

見学あり、講義ありで盛りだくさんの内容

実際の受講登録者は71名あり、うち1年生は47名、学部別の内訳では法学部が最も多く25名あり、次いで文学部が15名でした。

成績評価は2回のレポート提出により行われました。レポートの課題は次の通りです。

- ①総合科目「大学図書館と図書資料に親しむ」



第9回は古畑徹助教授による「歴史資料のおもしろさ」

を受講しての感想。

②第7回講義レジメにあげられている文献（10件）の所蔵調査。

これにより単位取得者は57名あり、うち1年生は45名でした。

14回の講義は、文・経済・教育・理・工の各学部から教官5名（講義数8回）と、図書館職員（講義数6回）が担当し、総合教育棟の講義室や附属図書館AV室で行われ、図書館書庫や資料館、特別閲覧室の展示の見学なども行われました。

教官からは、研究中に出会った図書館のエピソードなどを交えながら、海外の図書館のユニークな点、日本の大学図書館の問題点や期待する点、研究活動を取り巻く状況、資料そのものに対する興味や解説、また、求めた資料を手にする熱意などが語られました。来年は本学創立50周年の年でもあり、旧制第四高等学校時代にさかのぼって、金沢大学関係の資料についても紹介されました。

図書館職員からは、金沢大学図書館に所蔵されている貴重図書など様々な資料についての解説、それら資料の利用方法やサービス内容、他大学図書館との協力体制、コンピュータや通信手段の発達などにより大学図書館を取り巻く環境が大きく変化しつつある事、また、表には現れない図書館の仕事について紹介されました。

さらに改善のうえ、来年度に向け計画

前期課程を終了し、図書館側から次のような反省点が挙げられました。

- ①講師の間で授業内容の打ち合わせが不十分だったため、内容が重複したり、また、不足した事柄があった。
- ②盛りだくさんになるあまり、内容が散漫になったり浅くなったりした。
- ③日常の勉学にすぐに役立つ情報が少なかった。
- ④実習するにはパソコン台数に比較して人数が多いため効果的な実習ができなかった。
- ⑤総合科目受講者以外の人に対するオリエンテーションを充実する必要がある。

コーディネーターの橋本館長からは「最近は一コピーが得られ、また、電子化が進んで大量の情報を得る事も簡単になったが、便利になることだけが研究の進展につながるわけではない。知識・情報を身につけ、思考を深める努力が必要である」との感想をいただきました。

この科目は、来年度も「大学図書館への招待〜みずから学ぶ、図書資料を楽しむ〜」（案）として引き続き開設される予定です。これまで図書館職員が授業に直接参加することがありませんでしたので、手探りの状態でしたが、今回の授業に寄せられた要望や経験を生かし、授業の構成・内容・レポートの課題など、更に充実させるよう計画中です。

（参考調査係）



第11回。「金沢大学所蔵の貴重図書・資料」の様様。



としょかん トピックス

平成9年度の 特別図書購入費による資料、 中央図書館で利用できます

特別図書購入費とは、人文・社会科学系の大学院研究科の教育研究に必要な基本的図書資料を整備するための費用で、一揃いが10万円以上のものを選定することになっています。
平成9年度に選定された資料は以下のとおりで、中央図書館に配架されています。

雑誌記事索引集成 明治・大正・昭和前期 社会科学編 61-70 石山洋 [ほか] 編 皓星社

Contributions in family studies, 1-2, 5-7, 9-17, Westport : Greenwood Press

Paris sous le Consulat, t. 1-4 : recueil de documents pour l'histoire de l'esprit public a Paris / par A. Aulard. — New York : AMS Press

Collection des universités de France, Série Greque, Paris : Les Belles Lettres

Contents : Achille - Diodore de Sicile

Collection des universités de France, Série Latine, Paris : Les Belles Lettres

Contents : Accius - Comoedia Togata

香港中文大學中國文化研究所先秦兩漢古籍逐字索引叢刊 香港商務印書館

内容：潜夫論逐字索引—新語逐字索引—申鑒逐字索引—中論逐字索引—法言逐字索引，太玄經逐字索引—焦氏易林逐字索引，京氏易傳逐字索引—白虎通逐字索引—論衡逐字索引—荀

子逐字索引—風俗通義逐字索引—老子逐字索引—列子逐字索引

日本会社史総覧 上，下，別巻 東洋経済新報社

正倉院寶物 1-10 正倉院事務所編 毎日新聞社

ペリー艦隊日本遠征記 1-3, 収録海図 オフィス宮崎翻訳・構成 栄光教育文化研究所

A survey of Chinese Ceramics (中國歷代陶瓷鑑賞), Taipei : Aies Gemini Publishing

日本占領法令集 1-13, 別巻 [司法省刑事局経済課編纂] 日本図書センター

Free trade v.1-4 : 1793-1886 / edited by Lars Magnusson — London : Routledge

宮中檔光緒朝奏摺 1-26 國立故宮博物院編 台北國立故宮博物院

文部行政資料 1-18, 別巻 文部省編 復刻版 國書刊行会 (受入係)

新しい CD-ROM が入りました。 平成9年度の 外国図書購入費によるものです

平成9年度外国図書購入費で外国の CD-ROM を購入し、中央図書館検索コーナーのパソコンにセットしてあります。英語の勉強を兼ねて利用してみたいかがですか。

(*印—準備中)

A.D.A.M. The Inside Story (人体のしくみをアニメーション等で解説)

A.D.A.M. Comprehensive for Windows95 (マルチメディア版解剖学アトラス)

Memoire of Japan 1859-1875 (当時日本に滞在していた外国人が撮影した写真のコレクション)

Chronicle of the 20th Century (20世紀に登場した人物や事件のマルチメディア事典)

The Baseball Encyclopedia 1996ed. (米国プロ野球史百科事典)

Encyclopedia Americana (総合百科事典)

Dictionary of National Biography (イギリスの人名事典)

The Encyclopedia of Religion (宗教学事典)

* U.S. History Collection (アメリカの歴史コレクション)

(お問合せはシステム管理係(内線5213)まで)

「シラバス1996」～「シラバス1998」 対応学生用図書の購入整備が ほぼ完了しました

附属図書館では平成8年度と9年度の2年間にわたって本学の「シラバス(授業計画)」に記載された教科書・参考書を約3500冊収集し、利用に供することができました。現在までに「シラバス1996」～「シラバス1998」に記載されている教科書・参考書の整備をほぼ完了しました。

今後も、図書館の本をより充実させてほしいという要望に答えるべく新たに追加されるものについては定期的に調査し、備え付けることとし、授業に支障のないように学生用図書資料の整備に努力します。(受入係)

金大の図書の約45% (50万冊) が オンライン検索可能に！ 図書データの遡及入力 事業を推進中

現在、本学図書館では電子図書館の機能の充実・強化のための基礎となる目録所在情報のデータベース化が急務となっています。

本学が所蔵する資料の目録データ入力作業は、1987(昭和62)年度末に学術情報センターの目録システムとオンライン接続されて始まりました。当初、入力対象は新規受入図書に限られていましたが、1994(平成6)年度には、電算化以前に受け入れた資料のデータを遡って入力する「遡及入力計画」が策定され、第Ⅰ期事業として1995(平成7)年度から1998(平成10)年度までの4年間で遡及入力要員により約22万冊の入力を行うことになり、現在予定通り順調に進行しています。

今年8月時点で本学 OPAC (オーパック。オン

ライン所蔵検索システム)によって検索可能なデータの範囲は、1988(昭和63)年度以降図書館を通して受け入れられた全学の図書資料約27万冊及びその後遡及入力された図書資料約23万冊の計約50万冊分です。また、雑誌は本学所蔵のほぼ全タイトルが検索可能です。

本学全蔵書は約150万冊ですが、その4分の1が製本雑誌であり、図書のみについて計算するとその約45%が入力されたことになります。

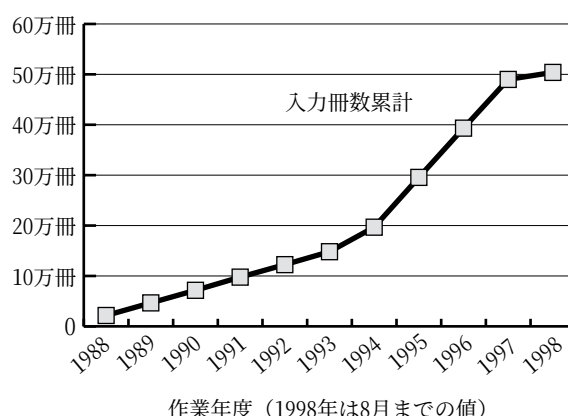
中央図書館では、開架図書と書庫の一般図書のデータ入力がすでに完了し、今後は暁烏文庫、旧制第四高等学校所蔵図書(四高図書)等の遡及入力を予定しています。また、各学部からの返戻図書も順次入力を行っています。工学部では、分館備付図書の入力が完了しました。

なお、学部・研究室に備付けられている未入力図書については、1999(平成11)年度から開始予定の第Ⅱ期遡及入力事業において段階的に実施することになります。

入力済みのデータは、OPACによって図書館設置の検索用端末をはじめ、研究室設置の端末からも学内 LAN を介してオンライン検索が可能です。また、学術情報センターの提供する WWW 方式の所蔵検索システム Webcat (ウェブキャット。<http://webcat.nacsis.ac.jp/> 無料。)でも検索可能です。

これらオンライン検索システムを利用することによって、図書館に直接来館しなくても本学所蔵資料が検索できる範囲が急速に拡大しており、電子図書館に向けて着実に前進しているといえます。(目録係)

金沢大学の図書目録データ入力実績



生命科学分野の 無料の電子ジャーナル

Journal of immunology, The Lancet などいくつかの生命科学系雑誌が Web 上で無料で利用できるようになりました。本学に所属し電子ジャーナルの各サイトへ接続可能な環境を持つ方ならどこでも利用可能です。

利用に必要な ID とパスワードは医学部分館（電話076-265-2141）へお問い合わせください。雑誌名や URL などは附属図書館ホームページ（<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>）でご覧いただけます。

（医学部分館）

●来場歓迎●

金沢大学附属図書館シンポジウム

テーマ 『研究成果流通と大学図書館』
10月23日(金) 13:30~17:00
本学 大学教育開放センターにて

講演予定者

学術情報センター	内藤衛亮 教授
学習院女子大学	越塚美加 助教授
本学 経済学部	伍賀一道 教授
本学 工学部分館	岡島 厚 分館長

お申込みは不要です。多数のご来場をお待ちしております。

としょかん日誌（1998年6月～8月）

6月24日 第45回国立大学図書館協議会総会（鹿児島
～25日 市民文化ホール）橋本哲哉（図書館長）、
青山弘（事務部長）、金井晃（情報管理課
長）出席
6月26日 金沢地区大学図書館協議会定例会議（星稜
女子短期大学）梶井重明（情報サービス課
図書館専門員）出席
6月29日 平成10年度第1回石川県立図書館協議会
（石川県社会教育会館）橋本哲哉（図書館
長）出席
6月29日 平成10年度漢籍整理長期研修（東京大学東
～10月9日 洋文化研究所）巖本康治（受入係長）受講
7月10日 夏期休業期間中の長期貸出期間
～9月17日
7月13日 平成10年度大学図書館職員長期研修（筑波
～31日 研修センター、オリンピックセンター）橋
洋平（工学部分館図書係）受講
7月21日 第19回（平成10年度）北陸地区国立学校等

～24日 監督者研修（辰口共同研修センター）小川
恭弘（閲覧係長）受講
7月29日 アダム・スミス貴重書寄贈感謝状贈呈式
8月5日 石川県図書館協会役員会（石川県社会教
育会館）橋本哲哉（図書館長）出席
8月5日 第5回医学図書館員基礎研修会（滋賀医科
～7日 大学）若泉文恵（医学部図書係）受講
8月17日 平成10年度第2回情報ネットワーク担当職
～21日 員研修（ネットワーク管理Ⅰ）（学術情報セ
ンター、日本ユニシス）林裕紀子（医学部
図書係）受講
8月26日 北陸地区国立大学附属図書館会計担当者会
議（北陸先端科学技術大学院大学）巖本康
治（受入係長）、橋美穂（雑誌係）出席
8月26日 平成10年度図書館等職員著作権実務講習会
～28日 （京都大学薬学部）梶井重明（情報サー
ビス課図書館専門員）、中村律子（医学部図
書係）受講

金沢大学附属図書館報「こだま」第131号

発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会

〒920-1192 金沢市角間町 電話(076)264-5200番

ホームページアドレス <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

1998年10月1日発行

印刷：活文堂印刷株式会社

表題地模様 © Toku Yusui